

タカラスタンダード株式会社

2024年3月期 第2四半期

決算説明資料

2023年11月1日

証券コード  
7981

水まわりって、大切だから

**Takara standard**

1. 2024年3月期 第2四半期 決算概要 P. 2 ~ 15

2. トピックス P. 17 ~ 20

2023年4-9月  
決算概要

売上高は第2四半期の過去最高を更新  
営業利益は減益となるが、純利益ベースでは増収増益

【売上高】	1,146億円 前期比 +4.2%	新築向け、リフォーム向けとも売上が拡大し、過去最高の売上高を更新。中高級シリーズのシステムバス「グランスパ」の拡販により増収となった。
【営業利益】	53億円 前期比 $\Delta$ 12.8%	2023年度実施の価格改定の反映が想定より時期ずれしたこともあり、経費の増加を吸収できず減益となった。
【四半期純利益】	44億円 前期比 +6.7%	政策保有株式縮減の取組み推進による投資有価証券の売却に伴い、四半期純利益は増益となった。

2024年3月期  
業績予想

価格改定効果の本格的な寄与と経費削減の取組みにより  
下期は増収増益を見込み、通期の業績予想は据え置く。

(単位:億円)

	2022年4-9月		2023年4-9月				2023年4-9月 業績予想	
	金額	売上比	金額	売上比	増減	増減率	金額	業績予想比
売上高	1,100	100.0%	<b>1,146</b>	100.0%	+45	+4.2%	1,137	+0.9%
売上総利益	377	34.3%	<b>384</b>	33.5%	+6	+1.8%	—	—
販売費及び 一般管理費	316	28.8%	<b>331</b>	28.9%	+14	+4.6%	—	—
営業利益	60	5.5%	<b>53</b>	4.6%	△7	△12.8%	66	△19.6%
経常利益	63	5.8%	<b>54</b>	4.8%	△8	△13.9%	68	△19.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	41	3.8%	<b>44</b>	3.9%	+2	+6.7%	45	△1.5%

# 経営成績(四半期別対比)

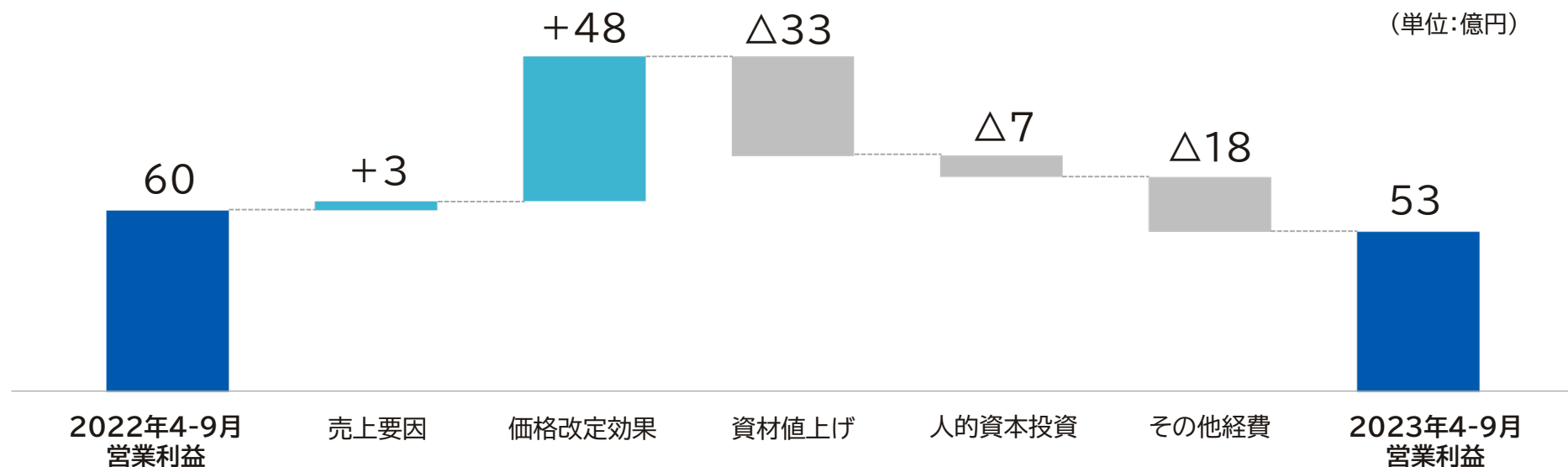
Takara standard

(単位:億円)

	2022年				2023年							
	第1四半期 (4-6月)		第2四半期 (7-9月)		第1四半期 (4-6月)				第2四半期 (7-9月)			
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	増減	増減率	金額	売上比	増減	増減率
売上高	543	100.0%	557	100.0%	572	100.0%	+28	+5.3%	574	100.0%	+17	+3.1%
売上総利益	189	34.9%	188	33.7%	190	33.3%	+1	+0.7%	193	33.7%	+5	+2.9%
販売費及び 一般管理費	157	28.9%	159	28.6%	164	28.7%	+6	+4.3%	167	29.1%	+7	+4.9%
営業利益	32	5.9%	28	5.1%	26	4.7%	△5	△16.8%	26	4.6%	△2	△8.3%
経常利益	34	6.4%	28	5.2%	28	5.0%	△6	△17.8%	26	4.6%	△2	△9.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	22	4.2%	18	3.3%	19	3.4%	△3	△15.9%	25	4.4%	+6	+34.6%

# 営業利益の増減要因

Takara standard

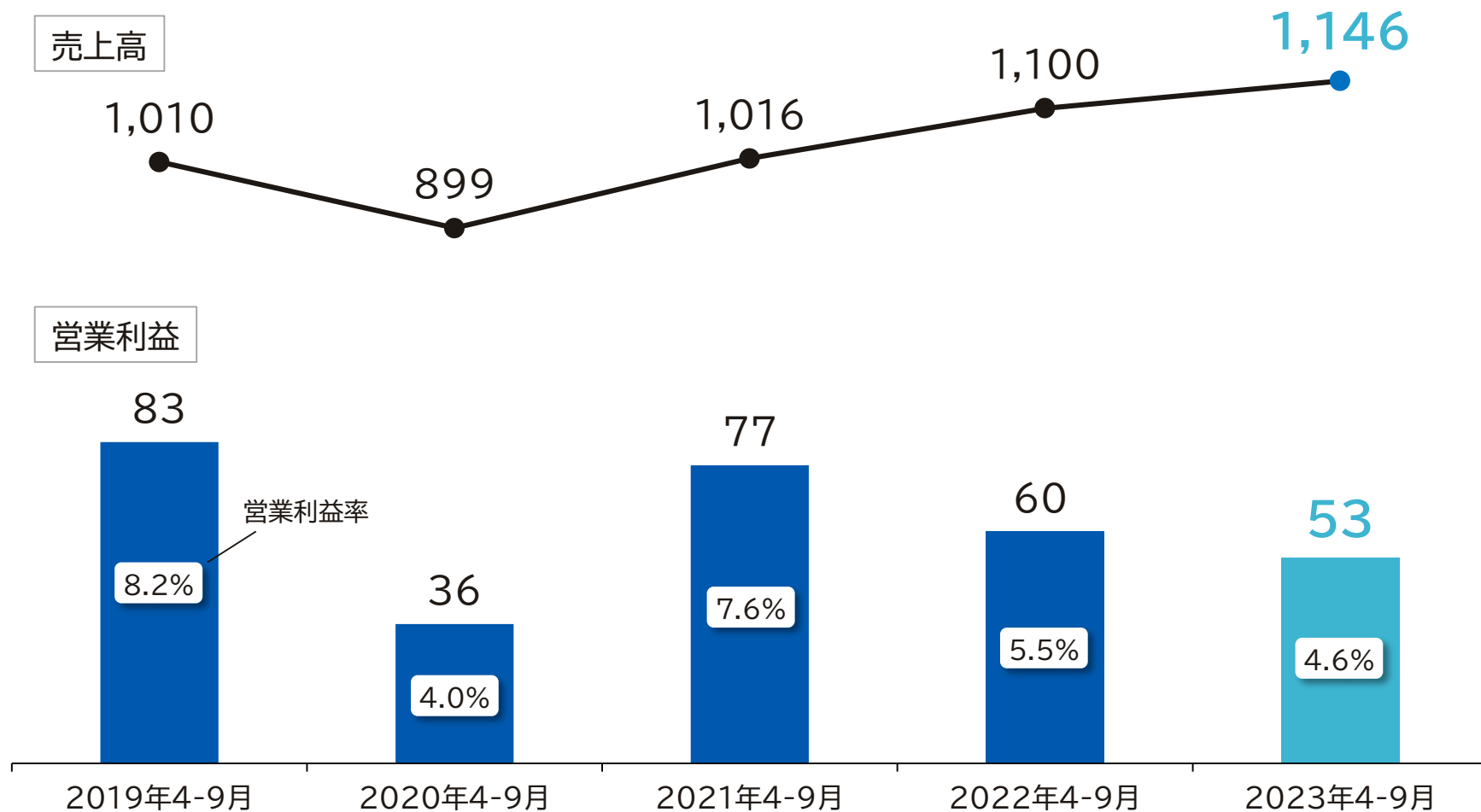


売上要因	都市部を中心にリフォーム向け・新築向け共に売上を伸ばした。
価格改定効果	2022年度および2023年4月に実施した価格改定により利益が増加した。 価格改定は想定よりも時期ずれがあったものの、第3四半期以降、本格的な利益増加への寄与を見込む。
資材値上げ	主要な資材である鋼板、ステンレス、樹脂原料など市況の高止まりにより、コストアップとなった。
人的資本投資	成長事業への人財投資、DX人材の獲得・育成など持続的な成長に資する人的資本への投資を積極的に実行した。
その他経費	売上の増加に伴う物流費や、生産設備増強に伴う減価償却費を中心に増加した。

# 売上高 及び 営業利益の推移

Takara standard

(単位:億円)

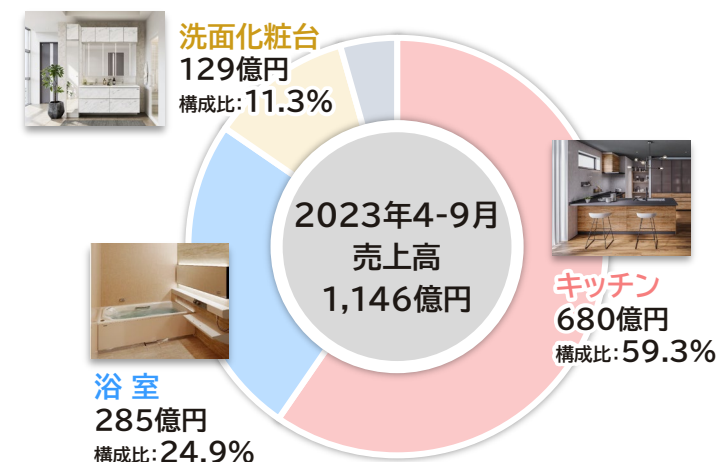


※2021年度より「収益認識に関する会計基準」等を適用しており、2020年4-9月は遡って適用した数値となっておりますが、2019年4-9月の各数値は遡及適用しておりません。

主要3部門ともに売上拡大。浴室部門は中高級シリーズ「グランスパ」の拡販や新築マンション向けも出荷台数を伸ばし好調。

(単位:億円)

	2022年4-9月		2023年4-9月			
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
キッチン	658	59.8%	680	59.3%	+22	+3.4%
浴室	262	23.8%	285	24.9%	+22	+8.7%
洗面化粧台	123	11.2%	129	11.3%	+6	+5.1%
その他共計	1,100	100.0%	1,146	100.0%	+45	+4.2%



【内数】

パネル関連売上	31	2.9%	34	3.0%	+3	+9.6%
海外事業売上	6	0.6%	5	0.5%	△0	△7.1%



# 製品部門別の売上高(四半期別対比)

Takara standard

(単位:億円)

	2022年				2023年							
	第1四半期 (4-6月)		第2四半期 (7-9月)		第1四半期 (4-6月)				第2四半期 (7-9月)			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率	金額	構成比	増減	増減率
キッチン	326	60.1%	331	59.4%	340	59.6%	+14	+4.3%	339	59.1%	+8	+2.4%
浴室	129	23.8%	133	23.9%	143	25.0%	+14	+10.9%	142	24.7%	+8	+6.6%
洗面化粧台	59	11.0%	63	11.4%	62	11.0%	+2	+4.5%	67	11.7%	+3	+5.6%
その他共計	543	100.0%	557	100.0%	572	100.0%	+28	+5.3%	574	100.0%	+17	+3.1%
【内数】												
パネル関連売上	16	3.0%	15	2.8%	17	3.1%	+1	+10.5%	17	3.0%	+1	+8.6%
海外事業売上	3	0.6%	3	0.6%	3	0.6%	△0	△2.7%	2	0.5%	△0	△12.0%

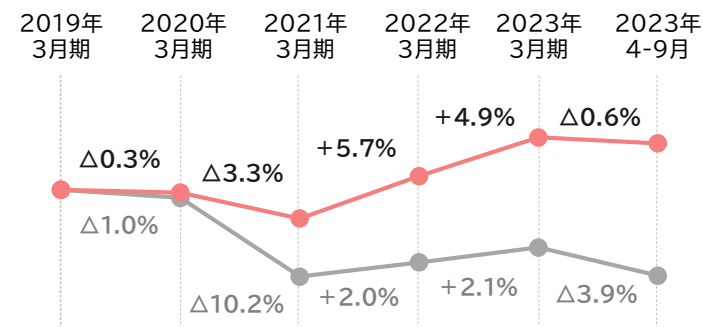
# 出荷台数増減率(業界比較)

当社の出荷台数の対前期増減率は業界(キッチン・バス工業会)を上回る水準で推移。

## キッチン



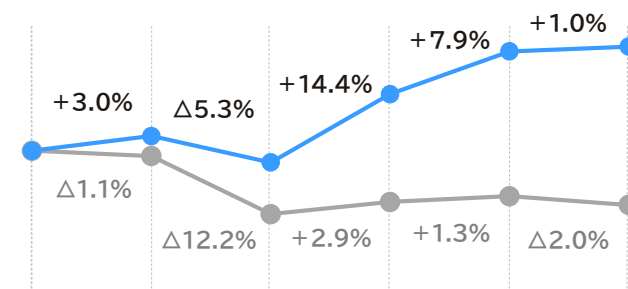
	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2023年 4-9月
当社	△0.3%	△3.3%	+5.7%	+4.9%	△0.6%
キッチン・バス 工業会	△1.0%	△10.2%	+2.0%	+2.1%	△3.9%



## 浴室



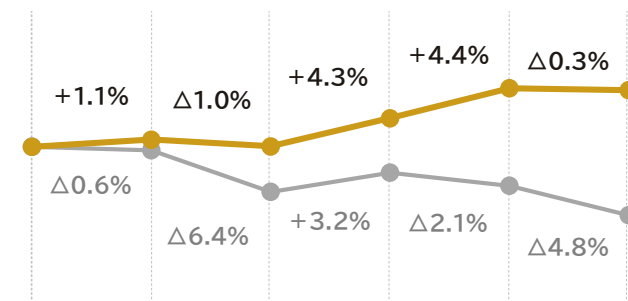
当社	+3.0%	△5.3%	+14.4%	+7.9%	+1.0%
キッチン・バス 工業会	△1.1%	△12.2%	+2.9%	+1.3%	△2.0%



## 洗面化粧台



当社	+1.1%	△1.0%	+4.3%	+4.4%	△0.3%
キッチン・バス 工業会	△0.6%	△6.4%	+3.2%	△2.1%	△4.8%



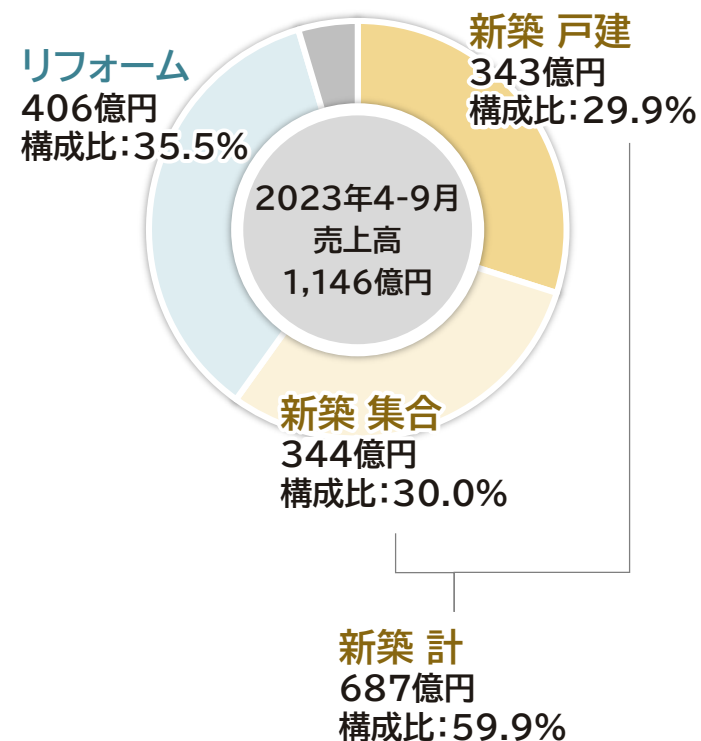
※キッチン・バス工業会の台数増減率は、システムキッチン合計、システムバス合計、洗面化粧台合計の対前期増減率を記載

都市部を中心に、新築・リフォームともに売上を拡大。

リフォーム市場では中高級シリーズのシステムバス「グランスパ」の拡販により +6.8%の伸びとなった。

(単位:億円)

		2022年4-9月		2023年4-9月			
		金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
新築	戸建	344	31.3%	343	29.9%	△1	△0.3%
	集合	322	29.3%	344	30.0%	+21	+6.7%
	計	667	60.6%	687	59.9%	+20	+3.1%
	リフォーム	381	34.6%	406	35.5%	+25	+6.8%
	その他共 計	1,100	100.0%	1,146	100.0%	+45	+4.2%



# 市場別の売上高(四半期別対比)

Takara standard

(単位:億円)

		2022年				2023年							
		第1四半期 (4-6月)		第2四半期 (7-9月)		第1四半期 (4-6月)				第2四半期 (7-9月)			
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率	金額	構成比	増減	増減率
新築	戸建	173	31.9%	171	30.8%	174	30.6%	+1	+1.0%	168	29.3%	△2	△1.7%
	集合	147	27.2%	174	31.3%	157	27.5%	+9	+6.6%	186	32.5%	+12	+6.9%
	計	320	59.0%	346	62.1%	332	58.0%	+11	+3.6%	355	61.8%	+9	+2.6%
	リフォーム	198	36.4%	183	32.8%	214	37.4%	+15	+8.0%	192	33.6%	+9	+5.4%
	その他共 計	543	100.0%	557	100.0%	572	100.0%	+28	+5.3%	574	100.0%	+17	+3.1%

# 貸借対照表

2023年9月末の総資産は 2,697億円、前期末比 100億円の減少。

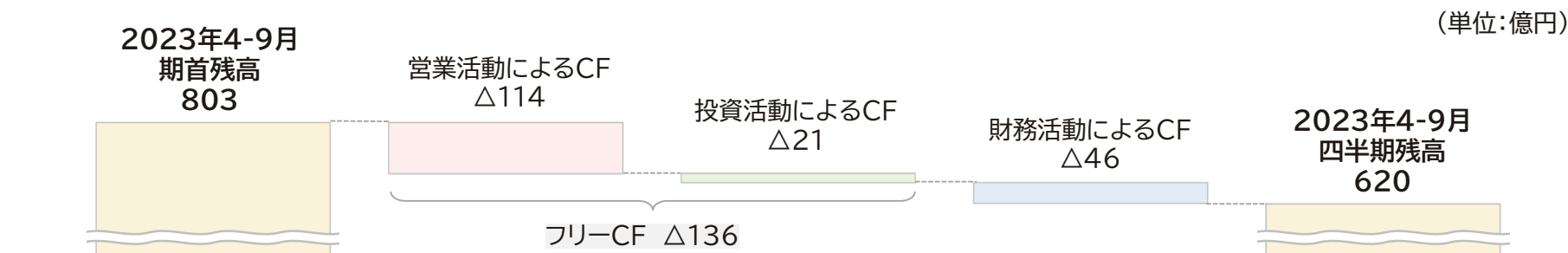
(単位:億円)

		2023年 3月末	2023年 9月末	増減	主な要因
資産	流動資産	1,737	1,626	△111	現金及び預金 △183 売上債権 +36 棚卸資産 +22
	固定資産	1,061	1,071	+10	
資産合計		2,798	2,697	△100	
負債	流動負債	761	649	△111	仕入債務 △122
	固定負債	222	224	+1	
負債合計		983	874	△109	
純資産		1,815	1,823	+8	四半期純利益 +44 自己株式の取得 △24 剰余金の配当 △18
負債純資産合計		2,798	2,697	△100	

主に一部購入先への支払い  
早期化に伴う仕入債務の減少

# キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物の四半期残高は、一部の購入先への支払いを早期化したことによる仕入債務の減少などで期首に比べ183億円減少し、620億円となった。



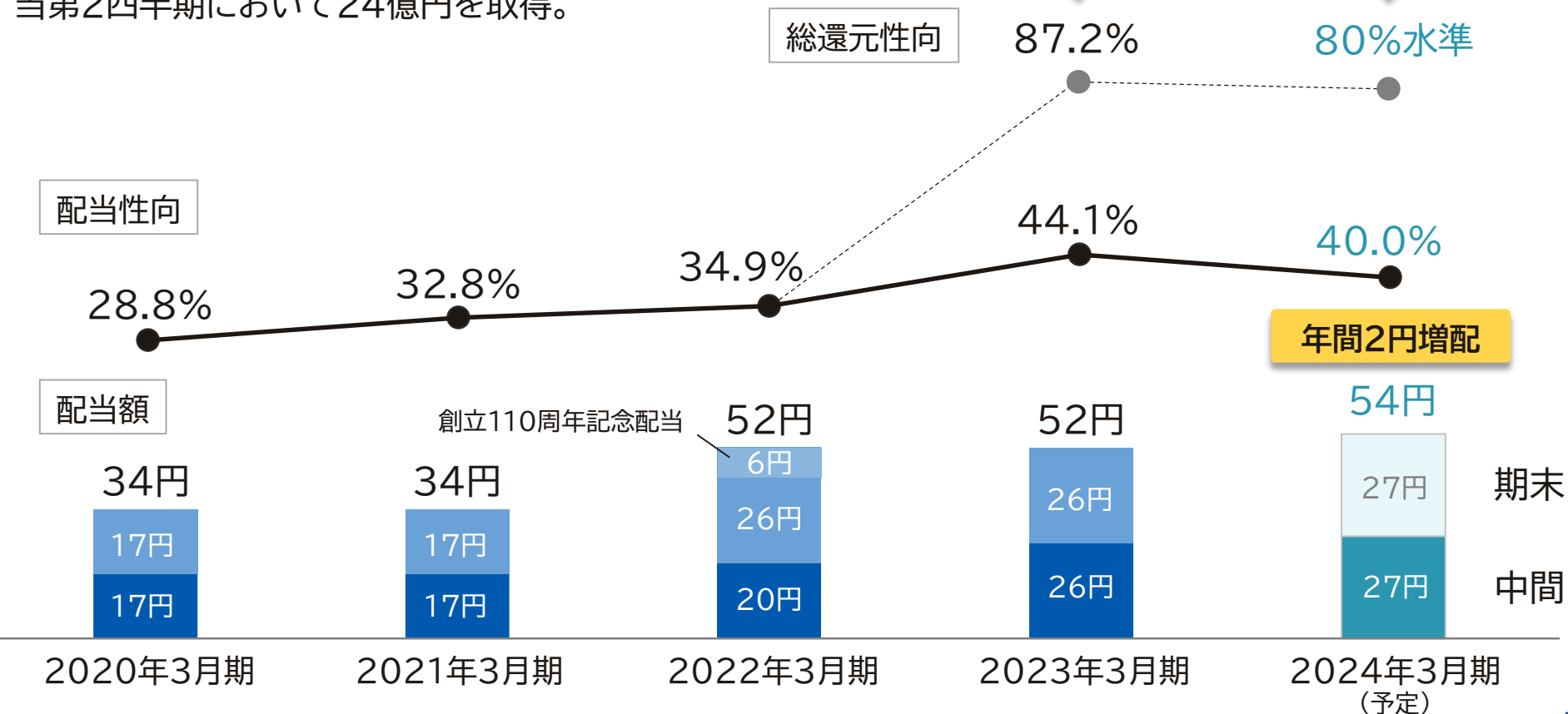
	2022年 4-9月	2023年 4-9月	主な内容
現金及び現金同等物の期首残高	886	803	
営業活動によるキャッシュ・フロー	7	△114	仕入債務の減少 △128 売上債権・棚卸資産の増加 △59 税金等調整前四半期純利益 64
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34	△21	有形固定資産の取得による支出 △39 投資有価証券の売却による収入 15
フリーキャッシュ・フロー	△27	△136	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△68	△46	自己株式の取得による支出 △24 配当金の支払額 △18 短期借入金の減少 △4
現金及び現金同等物の四半期残高	790	620	

資本効率の向上及び株主還元のより一層の充実を目的に、  
2024年3月期は「増配」と「自己株式取得」を予定

2024年3月期の配当は年間54円(2円増配)を予定。  
また自己株式38億円(上限)の取得を計画しており、  
当第2四半期において24億円を取得。

自己株式36億円を取得

自己株式38億円(上限)の取得を計画  
(11月1日時点で24億円取得済)



## 下期は増収増益を見込み、通期の業績予想は据え置く

上期の価格改定は想定よりも時期ずれがあったものの、第3四半期以降、本格的に利益増加に寄与する見込みであり、また経費削減の取組みにより通期の業績予想達成を目指す。

(単位:億円)

	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想	増減	
				増減率
売上高	2,274	2,353	+78	+3.5%
営業利益	109	141	+31	+28.9%
営業利益率	4.8%	6.0%	+1.2P	-
経常利益	114	145	+30	+26.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	84	95	+10	+12.9%

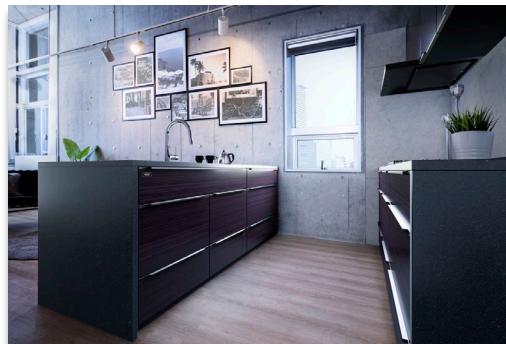


1. 2024年3月期 第2四半期 決算概要 P. 2 ~ 15

**2. トピックス P. 17 ~ 20**

## ホーローシステムキッチン「レミュー」モデルチェンジ

世界初のホーロー3Dインクジェット印刷による高級感



世界初となるホーロー3Dインクジェット印刷技術を用いたデザインや、より家事を楽にする機能を盛り込み、これまで以上に高品質で高級感のあるキッチンに。ハイクラスゾーンの方などをターゲットにした高級価格帯での売り上げ拡大を目指します。

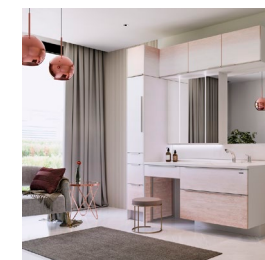
ホーローシステムキッチン「レミュー」の詳細はこちらへ

[https://www.takara-standard.co.jp/files/news/press\\_release/info/RELEASE\\_20230824\\_1.pdf](https://www.takara-standard.co.jp/files/news/press_release/info/RELEASE_20230824_1.pdf)



## ホーロー洗面化粧台「エリーナ」新カラー登場

キッチンと同様にホーロー3Dインクジェット印刷技術を用いたリアルな木目柄・大胆な濃淡で広がりを感じるグラデーション柄のカラーが新登場。高級感のある洗面空間を演出します。



## 10年間内部のお手入れが不要なホーロー製レンジフード 「キープクリーンフード」新発売



**GOOD DESIGN AWARD**  
**2023年度受賞**

ホーローの優れた清掃性と、重厚かつ優艶な、高級感のある意匠の両立を実現したことが評価

ファンを含む内部を汚れにくくする、独自の「フィルタリング構造」により、従来1年に一度を目安に必要なファンのお手入れが10年に一度となり、お手入れにかかる時間と使用する水量の削減を実現しました。

「キープクリーンフード」の詳細はこちらへ

[https://www.takara-standard.co.jp/files/news/press\\_release/info/RELEASE\\_20230824.pdf](https://www.takara-standard.co.jp/files/news/press_release/info/RELEASE_20230824.pdf)



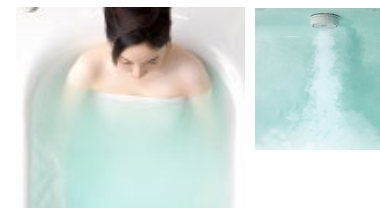
## 幅広い選択肢の中から選べる中高級シリーズ システムバス「グランスパ」好評発売中



多様化するニーズにお応えして、浴槽や洗い場、カラー天井などの組み合わせを自由に選べるほか、機能商品のオプションを多数ご用意。暮らしに合わせた理想の浴室空間をカスタマイズいただけます。



入浴時間を快適にするリラックス機能  
「肩包み湯」



マイクロバブルにより温泉気分を味わえる  
「うるぼか湯」

## 2023年4～9月は移転2カ所・リニューアル1カ所を実施

全国47都道府県に約160カ所。お客様が商品を「見て、触れて、納得」いただける地域密着型のショールームを展開。



大分県 **移転**  
大分ショールーム  
(2023年4月)



埼玉県 **移転**  
川口ショールーム  
(2023年7月)



愛知県 **リニューアル**  
豊橋ショールーム  
(2023年9月)

WEB活用によりショールームへの来場を促進

### 360°見渡せる バーチャルショールーム



### ショールーム 展示品情報



### WEB予約システム



## 営業部門におけるデジタル技術の活用

生産性向上による収益構造改革のために、デジタル技術の活用を推進し、販売活動を変革。

### 顧客管理(CRM※)システムの導入

※Customer Relationship Managementの略



取引先と施主の情報を一元管理

情報共有の強化、追跡対象の選別

**成約率UP**

会議時間の削減・情報取得の早期化

**営業効率UP**



### ESGの取組みを通じて、中長期的な企業価値の向上を目指します

#### E（環境）

- 当社の独自素材「高品位ホーロー」はサステナブル素材
- タカラ環境方針の策定
- 2030年度 CO2排出量削減目標 [2020年度比30%削減]の設定
- 生産拠点への省エネ設備導入、CO2排出量の少ない燃料への転換
- CO2排出量を削減する「ホワイト物流」への賛同
- 梱包資源削減と廃棄物軽減で環境を守る
- 社屋に太陽光設備を設置し、環境と省エネルギーに配慮

#### S（社会）

- 様々な子育てサポートで女性が活躍できる環境づくり
- 従業員が健康で健やかに働ける「健康経営」の推進
- 場所や時間にとられない柔軟な働き方の推進
- こども食堂への寄付(食の支援を通して、社会に貢献)
- 子どもたちの想いを育てる「こころの劇場」協賛
- フルブライト奨学金制度に協賛
- アーティスト支援による社会貢献活動を目的とした「ホーロー×アート プロジェクト」の推進

#### G（ガバナンス）

- プライム市場上場企業として、健全な企業経営につながるガバナンス体制の強化
- IR活動を通じて、幅広いステークホルダーとの建設的な対話を実施

当社が考えるSDGsを  
ホームページで公開中。



< IRお問い合わせ先 >

タカラスタンダード株式会社

管理本部 財務部

TEL 06 - 6962 -1502

E-mail [ir@takara-standard.co.jp](mailto:ir@takara-standard.co.jp)

水まわりって、大切だから

**Takara standard**

本資料は、2023年11月1日現在の計画に基づく予測が含まれています。これらの計画と予測は、リスクや不確定要因を含んだものであり、実際の業績が当社の計画と異なる結果となる可能性があります。